

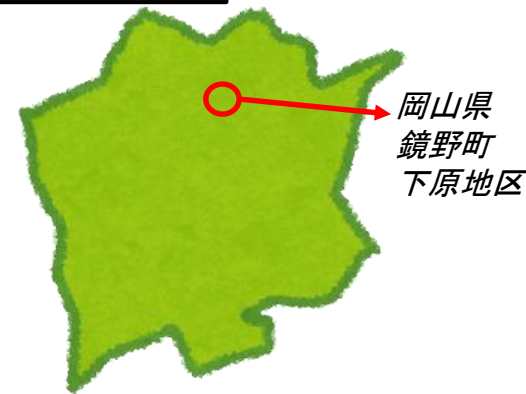
取組の概要

取組の概要 : 次代を担う産地強化への体制整備
 計画作成主体 : 鏡野町農業再生協議会
 対象品目 : トマト (施設野菜)
 (産地面積:2.6ha)
 主な取組主体 : 農事組合法人鏡野町水気耕生産組合
 成果目標 : 販売額の10%以上の増加
 助成金の活用 : 整備事業 (生産技術高度化施設(高度
 状況 環境制御栽培施設))

ポイント

水耕栽培ハウスに、環境制御装置を一元的に制御できる複合環境制御装置を備えることによって、ハウス環境の改善を図り、生産量の拡大と品質の向上により、販売額10%以上の増加を実現。

地区の概要



産地の現状と目標

〈現状:H27年度〉

作付面積 : 2.5ha
 出荷数量 : 290t
 販売額 : 6,541千円/10a

〈目標:H30年度〉

作付面積 : 2.6ha
 出荷数量 : 338t
 販売額 : 7,552千円/10a



推進体制

地域の関係者 (鏡野町、津山農業協同組合、岡山県) が一体となり、事業を推進。

地域における独自の取組

〈主な取組〉

○西日本での水耕栽培の草分けとして30年以上にわたり高度な栽培を推進し、安全・安心な「ハイポニカ栽培トマト」として、地元直売所、スーパー等での直売や契約栽培に力を入れている。

事業効果

- 自動化された高度な複合環境制御装置栽培施設を導入することにより、生産の高度化により、生産量の向上、品質の向上に伴う販売単価の向上が期待できる。
- 販売額の増加により、生産者の所得向上につながり、トマトの産地強化を実現。

～トマトの販売額～

